

三年学年だより

No. 8

11月号

令和5年10月30日発行

307HR

AIの遺電子

何を隠そう、私は漫画が好きだ。アニメも好きだ。小学生の頃のお小遣いは月500円だったが、毎月こつこつと貯めてコミック本の新刊が出るとその貯めたお小遣いから買っていた。はっきりと覚えてはいないが、その頃の値段は1冊360円(?)ほどだったように思う。しかし、現在、コミック本の値段は700円を超える価格になっており、フルカラー本のものだと税込みで1000円を超えている。当時の私だったらお小遣いの^{はんちゆう}範疇では到底買えないなど改めて思う。現代人なら電子コミックが主流なのかもしれないが、私は単行本を購入する派である。

さて、前置きはここまでとして、私が読んでいるコミックは現在、アニメ化されているものが多く、プライベートはテレビの前から動かない生活をしている日もある。TVerやABEMAで見ってしまうこともしばしば。見逃してしまっても見られるのは本当にありがたいことである。そのサブスクで見つけたアニメで、感慨深いものがあつたので紹介したい。表題につけている「AIの遺電子」である。私はまず、タイトルがダブルミーニングになっているところに惹かれた。これは、近未来系ヒューマノイドSF医療の物語で、将来起こりうるかもしれないと思わせる内容も興味深い。AIと人間の存在意義においてはその倫理観が試されるような話もあつて、なかなか見ごたえがある話だなど思った。ときにダークな内容もあつたり恋愛要素を含むライトな場面もあつたりなのだが…。ただ、賛否両論で、いいアニメだという人もいれば、ディスる人もいるので、そういった意見を知ることもおもしろいと思う。1つのアニメでも様々な考え方や感じ方、見方、捉え方ができるので、漫画を楽しむことをお勧めしたい。

3年生にとっては、これから本番を迎え、きついシーズンに突入する人が大半だと思う。すでに進路決定している人は、これからの自分の過ごし方を見つめて、読書をたくさんしたり、いろんな文化に触れたりして見識を広めてみることもいいのではないのでしょうか。受験がこれからの人は、ちょっとだけ息抜きも大切です。読解力や想像力(創造力)を養うためと割り切って、漫画や小説を読んでもみるのもいいかもしれません。自分自身が今置かれている現実から目を逸らしてはいけませんが、息抜きの時間だけは現実逃避はリフレッシュ効果があるかもしれません(^_^)

(307HR担任)

今をしっかりと生きる

7月に体調を崩し3か月ほど学校を離れていました。生徒の皆さんにも大変なご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。これほど長期にわたり職場を離れたのは初めてであり、その間いろんなことを考えました。幸い時間は多くありましたので、これまでの自分、今の自分、今後の自分について一生懸命考えました。結論は、ありきたりですが、今やれることを全力でやるしかないよねということでした。とにかく、指導していただく理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の先生方と競うようにリハビリに一生懸命取り組みました。今をしっかりと生きることで、未来にも光が見えてきました。何事もそうなのかなと思います。学校現場に戻った今は、また、一つずつがんばっていこうと思っています。

(307HR副担任)

